

第1日 1月25日（金）午後部

(6) 国語部会（中・高）	部会テーマ	「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した 国語科の授業		
内 容	「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業実践を紹介する。「対話活動」による学びを深めるための効果的な実践や、夏目漱石の「こころ」の通読から読みの深まりを目指した実践を通して、これからの国語科の授業について考える。			
司 会 者	総合教育センター	山口 和彦		
記 録 係	総合教育センター	山口 昌子	企画・会場係	総合教育センター 塩野 友佳

実践発表 1**学びを深めさせる対話活動の追究**

～対話の理論を踏まえた効果的な実践に向けて～

日光市立東中学校 菊池 健人

「対話」の定義と意義を土台に、対話能力の育成のための基盤事項を押さえ、効果的な実践のための要素を、学習形態・話型・思考ツール・司会意識の四つの視点と評価の視点から考察した。本発表ではその研究内容について報告する。

実践発表 2**「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導の工夫**

～「こころ」の通読による言語活動の実践を通して～

県立小山南高等学校 島田 一幸

『こころ』は読み応えのある定番教材であるが、教科書採録部分だけでは生徒の読みが限られてしまうという難しさがある。そこで、『こころ』の全文を通読させ、通読を基にした言語活動を通して深い学びに繋げる実践を試みた。本発表では、その実践内容について報告する。

研究協議**これからの国語科の授業について考える**